

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームせせらぎの家

施設種類： 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：令和7年11月20日 10時00分～10時50分

会場：やまゆり苑 家族交流室

出席者：8名

内訳

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	1人	出雲高齢者あんしん支援センター	0人
地域住民の代表	1人	高齢者福祉課	1人
その他（理事長、施設長、所長、管理者）			4人

議題

（報告事項）

1、入居者状況： <定員18名>（入居者17名）

要介護度1・・・6人 要介護度2・・・5人 要介護度3・・・3人

要介護度4・・・3人 要介護度5・・・0人

* 平均介護度・・・2.2

* 平均年齢・・・86.8歳

* 待機者・・・12名

2、行事報告

R7.9.14	c o t a b a	利用者4名、職員4名
R7.10.22	だんだん祭り	利用者16名、職員8名
R7.10.26	八幡原宮秋祭り	利用者17名、職員4名
R7.11.3	ごとっこい祭り	利用者10名、職員7名

3、事故報告について

4、意見交換

地域住民

- ・天気が良く、外出の機会が増えたということでしたが、対象の方はどのくらいです？

所長

- ・ほぼ、みなさんに外出して頂きました。

家族代表

- ・面会に行って、時々、外を散歩したりするんですが、散歩すると表情が変わってくるので、外に出ることは良い事だと思いました。

所長

- ・散歩されて帰って来られると表情が変わって、発語も増え、外に出るのがこんなにリフレッシュ出来るものだと実感しています。

コミセンセンター長

- ・ごとこい祭りにスタッフとして関わってまして、来客数が2,500人で約8割の方が町外の方でした。せせらぎマーケットも出店して頂いてありがとうございます。賑わい、予定通りに終わって安心しています。また、来年もぜひお願いします。

高齢者福祉課

- ・行事に参加されている人数が素晴らしいと思いました。祭りなど地域との交流もされていて、また、外出では誰も好きなお店に行かれて良かったと思います。

学生の受け入れもされていて、今後、人材が増えていくのではないかと思います。

高齢者福祉課

- ・誤薬、他の施設でも聽きます。1日3回を毎日行うことで服薬介助が形骸化していくのかなと思います。

所長

- ・毎回、毎回行うと緊張感がなくなり、報告書としてあがってきますので、その都度、緊張感を持って対応していかないといけないと思います。

コミセンセンター長

- ・重要な役目だと思います。1人対応よりも2人でチェックする方が正しいと思いますが、事故のないようにやってもらえたたらと思います。

家族代表

- ・転倒等は仕方ない部分があると思うが、誤薬は怖いと思って、管理の仕方はどうですか？

所長、管理者

- ・朝食後、昼食後、夕食後とそれぞれケースに一回分を分けて用意しています。

地域住民

- ・転倒は屋内ですか？薬は食前や食間がある方もおられますか？

所長

- ・転倒は屋内です。薬は食間や食前の方もおられます。

施設長

- ・服薬については服薬マニュアルを作っていて、事故が起きる度にマニュアルを改訂して二重、三重のチェックするようにしています。マニュアルを守っていると基本起きませんが、今回ヒューマンエラーで起こってしまいました。人の命に関わることですので、もう一度、誤薬がないようにマニュアルを守っていくように所長やリーダーに指導していかないといけないと思います。

高齢者福祉課

- ・報告することが大事です。事故が起こってしまったら、その後の適切な対応が大事になります。

以上